

青き風

石巻市立石巻中学校だより

文責：山内

—石中心得—

自主 自律 品位

第5号(運動会直前号)

R5. 5. 24(水)

明後日は大運動会です

生徒会運動会テーマ
「魂情～魂焦がして意地を見せろ～」

明後日はいよいよ大運動会です。

子どもたちは、「自分たちの手で創り上げる運動会」にすべく、限られた時間の中で精一杯準備してきました。今日の練習では、子どもたちのやる気と熱気が感じられ、今年度も石中生らしい元気いっぱいの運動会を開催することができそうです。種目や時程等につきましては、本日配布いたしましたプログラムでご確認ください。

明後日5月26日(金)はぜひ石中においでいただき、お子さんの、そして石中生の躍動する姿をご覧ください。



〈オールメンバーリレー練習風景〉



〈応援パフォーマンス練習風景〉



〈石中SAITARA練習風景〉

「各組団長の意気込み」

赤組

団長:阿部好誠くん(3-1)
副団長:大崎 玲くん(3-1)
田代あゆみさん(3-1)

旧門中校舎での運動会は、今年が最初で最後です。そして、3年生にとっても最後の運動会です。「猛魂」というスローガンのもと、1、2年生と楽しく全力で最高・最強の赤組をつくり上げ、優勝をつかみ取ります。

組旗のテーマは「侍」です。WB Cで日本中を沸かした侍ジャパンのように、私たち赤組も他の組を圧倒し、運動会を真っ赤に染め上げたいと思います。応援よろしくお願ひします。

青組

団長:四釜準星くん(3-2)
副団長:平居明哲くん(3-2)
石澤優翔くん(3-2)

僕たち青組は、「天下夢蒼」をスローガンにして練習しています。ただ単に青組だから「蒼」ではなく、大地に根ざして青く生い茂る草木のように力強いチームにしたいと思い、このスローガンを掲げました。

今まではコロナ感染防止の制限がありました。今年は思い切り声を出したり、ソーシャルディスタンスを考えずに集団での活動を楽しんだりして、心と心を密にした運動会にしたいと思っています。青組が優勝する瞬間を見届けてください。

黄組

団長:阿部武海くん(3-3)
副団長:佐野陽姫さん(3-3)
大出倅也くん(3-3)

この度黄組の団長になりました阿部武海です。よろしくお願ひします。個人の目標として誰よりも笑顔で全力で楽しんでいこうと思います。今年度の黄組のテーマは「電光電撃」です。非常に激しいという意味を表します。優勝に向かって雷のように勢いよく、そして激しく、黄組みんなで頑張っていきたいと思っています。

中学校生活最後の運動会を悔いの残らないものにしていきたいと思っています。優勝目指して頑張るぞ！黄組サンダー！

運動会実行委員を紹介します

- 実行委員長：三浦 颯くん(3年1組)
- 副実行委員長：遠藤まおさん(3年1組)、高橋星良さん(2年1組)
- 実行委員：〈1年1組〉相澤汰知くん、江刺茉友香さん 〈1年2組〉須藤 楓くん、佐藤沙耶さん
〈1年3組〉条 誠くん、木村璃穂さん 〈2年1組〉三川純希くん
〈2年2組〉栗野彪翔くん、熊井沙夏さん 〈2年3組〉齋藤波鷗くん、平塚愛良さん
〈3年2組〉今泉勇我くん、佐藤華音さん 〈3年3組〉栗栖涼太郎くん、山口可鈴さん

「運動会の抱負」

運動会実行委員長 三浦 颯くん(3年)

今年は3年ぶりに制限のない運動会です。この3年間、制限の多い運動会が続いていたからこそ、全校生徒が「青春の密」を感じられるような最高の運動会にしたいです。どの組もここまで3年生のリーダーを中心に時間をかけて準備してきました。保護者や来賓の方々にも楽しんでもらえるよう、石中生全員どの演技も本気で取り組みたいと思います。そのような運動会にするためにも、まずは自分が演技や役割に全力で取り組み、さらに実行委員長として全体をリードしながら、どの組も熱い一日を過ごせるようにしたいです。

ある日の石中Part.1

先日、総合文化部の女子生徒が校長室を訪れ、「校長先生、写真を撮らせてください。」と言うので、(私もついにアイドルになったのか!)と思ったら、先生方の似顔絵を描く基にする写真とのこと。

昇降口から校舎に入った正面の壁(職員室前の廊下の壁面)に、石中教職員の似顔絵を描いた絵が掲示されています。総合文化部の生徒たちが描いたものですが、これがまたそっくりで、好評を博しています。

学校にお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。



= 緑の募金活動を行いました =

福祉委員会で緑の羽根の募金活動を行いました。総額10,186円となり、宮城県緑化推進委員会に全額寄付しました。昨年度のトルコ地震義援募金もそうですが、このような活動は子どもの視野を広げ、大人に成長させる活動として、大切にしていきたいと思っています。

石中生のチャレンジ

〈全日本少年軟式野球石巻ブロック大会〉

準優勝 野球部

悔しさをバネにして次こそ…

山内の“ひとりごと” Vol.2

今回は、ちょっとだけ硬い話からスタートします。

学校教育活動における教育課程には、9教科の他に、特別の教科道徳、総合的な学習の時間、そして特別活動があります。特別活動は、他者と望ましい関係を築く力など、子どもたちが将来社会生活を営む上で必要な力を育むための活動であり、大きく「学級活動(学活)」「学校行事」「生徒会活動」の3つの領域に分かれていて、運動会や文化祭などは学校行事にあたります。

その特別活動には、他の教科にはない特質が2つあります。1つは「為すことによって学ぶ」。つまり、実際の体験や活動を通して得る学びを重視しているということです。もう1つは、「集団活動を通して学ぶ」。つまり集団による活動を重視しているということです。

石中では、机上の学習ももちろん大切にしていますが、「教育とは、子どもたち一人一人に自立の力を身に付けさせる営みのすべてである」という考えのもと、特別活動も大切にしています。大運動会もそのひとつで、前日までの準備や当日の運営をできる限り子どもたちの手で創り上げるように支援してきました。

いよいよ当日を迎えますが、私は、人の姿の中で最も美しい姿とは、「何かに向かってひたむきに一生懸命頑張っている姿」だと思っています。大運動会では、ご家庭の皆様にも、人の最も美しい姿である、子どもたちの「一生懸命な姿」をご覧いただければ幸いです。

勝っても 負けても 速くても 遅くても
強くても 弱くても カッコよくても 悪くても
どっちだっていい
優劣を超えたところにある
ただひたむきに



「仲間と共に一生懸命に取り組む石中生」の姿をぜひご覧ください。